

## 令和6年度使用小学校教科用図書採択理由

種 目	発行社	採 択 理 由
国 語	光村図書出版	<p>① 2年以上の巻頭「どうやって学んでいくのかな」のページに、考えや学びを深めていくための学習の進め方を視覚的に提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</p> <p>② 「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の手引は、上段と下段の性格付けを明確にし、どこを、どう読み、何が大切なのかを分かりやすく記載し、例を具体的に提示することで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。</p> <p>③ 「問いをもとう」と「目標」を設けることで、児童の問いを引き出し、一人一人の問いを学習の目標へとつなげ、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>④ 言語活動に必要感、必然性のある話題を系統的に配置し、単元の見通しを持ちやすく、かつ単元末には振り返りを設定することで、主体的に学習に取り組み、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 3領域の単元末や「言葉」の教材の末尾に設定されている「いかそう」に、言葉の力を他教科の学習や日常生活に活用する視点を明示することで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。</p> <p>⑥ 学習の積み重ねを実感できるよう、指導事項を焦点化した小単元「書くときにつかおう」を2年以上に設定することで、当該小単元で身に付けた力を他の単元で生かすとともに、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>⑦ 説明文では、論理的に表現された文章を適切に読み、自分で考える学習を重ねるとともに、その学習で得た力を生かせる場を設定することで、読む能力を確実に身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>⑧ 2年以上に「季節の言葉」を設けることで、四季にかかわるさまざまな風物・詩・童謡・俳句・短歌等に触れることができるよう工夫されている。</p> <p>⑨ 絵や写真と文章を対応させながら読む教材を各学年に配置することで、絵・写真から読み取ったことをもとに考え、話し合う学習が行えるよう配慮されている。</p>
書 写	光村図書出版	<p>① 1年に「しょしゃすたーとぶつく」3年に「毛筆スタートブック」を設けることで、硬筆・毛筆の入門期の基本を網羅し、書写学習に楽しく取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>② 2年以上の題材に、「たいせつ」を設け、他の字を書く時にも活用できる基礎・基本を示すことで、課題を意識して学習に取り</p>

		<p>組むことができるよう工夫されている。</p> <p>③5年「六年生を送る会に向けて」、6年「今の思いを書き残そう」という単元を設けることで、書写で身に付けた力を生かして、様々な形で表現できるよう工夫されている。</p> <p>④「学習の進め方」として、毛筆学習の最後に硬筆課題を設定したり、毛筆で学習したことを手紙やノートの書き方などの日常に生かす学習を設定したりすることで、毛筆と硬筆の分量が適切になるよう配慮されている。</p> <p>⑤鉛筆の持ち方を写真で手元に焦点を当て、大きく掲載することで、ポイントを視覚的にとらえやすいよう配慮されている。</p> <p>⑥学習のポイント（とめ、はね、まがりや書き順）をキャラクターやイラストを効果的に用いることで、視覚的にも分かりやすくなるよう配慮されている。</p> <p>⑦3年以上で、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の進め方を示すことで、見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p>
社 会	東京書籍	<p>①ふるさと長崎の伝統・文化や歴史（島原・天草一揆、鎖国当時の貿易拠点としての出島、朝鮮交流の窓口になった対馬）、自然（雲仙普賢岳の噴火）について理解を深める学習に生かせる題材が扱われている。</p> <p>②今日的課題（SDGs、人権・平和、防災・安全、主権者教育、国際理解、環境、エネルギー、ICT）に関する内容が充実している。</p> <p>③全単元において、単元のめあて、小単元の学習問題、本時のめあてを構造的に示し、問題解決的な学習（4つの視点「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」）を効果的に進められるようになっている。</p> <p>④全学年において、「まなびのポイント」として学習活動をわかりやすく示し、学習段階に応じた学習活動を例示している。「つかむ」段階では主体的な学びにつながる学習活動、「調べる」段階では対話的な学びにつながる学習活動、「まとめる」「いかす」段階では考える学びにつながる学習活動が重視されている。</p> <p>⑤学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なQRコンテンツ（動画資料、ワークシート、デジタルワークシート、デジタル資料）が掲載されている。</p> <p>⑥使いやすさへの配慮については、分冊や重量負担軽減のためのページ数削減、ユニバーサルデザインフォントの使用、カラーバリアフリーの観点から図表やグラフなどは色調の違いや模様や形、線種などでも判別がしやすいつくりになっている。</p>
地 図	帝国書院	<p>①世界の各州を示したページごとに、「世界のSDGs」のコーナーを位置付けている。世界の国々のSDGsの取組を掲載することで、国際理解や持続可能な社会の実現への関心を高めることが</p>

		<p>できるようになっている。</p> <p>②地方ごとに「広く見わたす地図」のページがあり、各地方の全体像や各県の特徴をとらえやすい。</p> <p>③地図の中に市街地、田、畑、果樹園なども色分けされているので土地の利用の仕方がわかりやすい。</p> <p>④どのページも鮮明で見やすい。</p> <p>⑤世界の主な地域図において、馴染みのある物語や曲、関心のある話題について紹介する記号を地図上に掲載することで、教科横断的な学習につながるように構成されている。</p>
算 数	東京書籍	<p>①系統性を大切にした筋道に沿った誌面の内容で、児童の思考の流れや理解のしやすさに配慮がなされている。</p> <p>②吹き出しやまとめ、用語の説明など、言葉や図、数、式による説明が分かりやすい。</p> <p>③問題ごとに発展的な問題が示され、理解を確かめながら学ぶことができる。</p> <p>④基礎と発展の内容のバランスがよいので、発展的な問題を通して、定着も図ることができると思う。</p> <p>⑤考えを創り出しやすいように書き込み式の紙面になっている。</p> <p>⑥単元の導入が、前単元の復習から入っていて、丁寧である。1年の導入など。</p> <p>⑦補助問題「それなら」を設けることで、自ら学び、能力を高める工夫がある。</p>
理 科	大日本図書	<p>①問題解決の学びを想定したページ設定。導入で、事象をダイナミックに写し、気づきを引き出しやすい。問題設定までが児童の言葉を添えながら丁寧に導かれてある。事象との出会いで見開き1ページ、実験のページまでが見開き1ページ、結果と考察、結論と発展等で見開き1ページと、この繰り返しが徹底されており、学び方を身に付けさせやすい。</p> <p>②結果のページでは、複数の情報を整理・分類して写真を載せているため、考察の場面で、教科書を基にして抽象化や概念化がしやすいと考えられる。</p> <p>③他の教科書と比較したときに、最も長崎県の自然事象を多く掲載している。</p> <p>④例えば、5年「受粉結実」では、アサガオとゴーヤに絞った学びに焦点化することで、「比較」する際に掘り下げていく学びにつながる。</p> <p>⑤5年「天気」では、複数の地域の天気を時系列に表示しているため、変化を見出しやすい。</p> <p>⑥単元末の「理科のたまたまばこ」は、複数の事例や掘り下げた内容を紹介し、知識のつながりを広げたり深めたりしやすいと思われる。</p>

<p>生 活</p>	<p>大日本図書</p>	<p>①巻頭に見開きで児童に向けて「学び方」が示されており、児童・教師ともに活動する際の気付きを得るための視点を意識・確認することができる。</p> <p>②写真や挿絵が大きく、児童の学習意欲を高めるだけでなく、吹き出し等が、自分自身と、身近な人々、社会及び自然の特徴や良さ、それらの関わり等に気付くためのヒントになっている。</p> <p>③人権意識を自然と身に付けることができるような工夫がなされている。</p> <p>④1年の教科書では、スタートカリキュラムに沿った構成がなされており、また、2年生の教科書では、3年生からの理科や社会に円滑に移行していくことができるような視点で構成されている。</p> <p>⑤紙面上にデジタルコンテンツ等を盛り込むことで、1人1台端末を学びに生かし、児童が主体的に学ぶような工夫がなされている。</p>
<p>音 楽</p>	<p>教育芸術社</p>	<p>①学習活動が3観点に対応して示され、「児童たちが何を学び」、「何ができるようになるか」のポイントがわかりやすく、主体的な活動が進めやすいように配慮されている。</p> <p>②QRコードの場所が統一されて探しやすく、児童たちや教師がクローズドブックで活用しやすいように動画構成がなされている。</p> <p>③楽器の入門期においては、実際の楽器の大きさと児童の目線から掲載され工夫してある。また、授業導入ページが設けられており、段階的な学びができるように掲載されている。</p> <p>④身の回りの事象を教材化することによって、児童が実感をもちながら音や音楽のよさを感じ取り、豊かな人間性を培うことにつながる。</p> <p>⑤子供の興味関心を高めるように、詳しく日本の伝統文化「長崎くんち」を取り上げていた。</p>
<p>図 工</p>	<p>開隆堂出版</p>	<p>①3つの資質・能力に沿った学びのめあては、キャラクターを用いて視覚的にとらえやすくすることで、目的をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、子供、教師にとって学習や評価の道しるべとなるよう、特に大切なめあてについては、色を変え、下線をつけて強調するなど工夫が施されている。</p> <p>②すべての作品の写真に番号を付けるとともに、参考作品で動きのあるものについては、QRコードから動く様子を確認することができるよう工夫されるなど、すべての児童、授業をする先生にとって使いやすくなるよう配慮されている。</p> <p>③各題材巻頭には、学習に必要な用具や材料がすべて示されている。</p>

		<p>④水彩絵の具については、複数の題材を通して、基本的な扱い方や技法を継続的に身に付けることができるよう工夫されている。また、安全面を含めて用具の取り扱いに慣れる必要があるものについて、複数の学年や題材で取り上げることで、表現方法に応じて適切に選択し、活用することができるよう工夫されている。</p> <p>⑤「絵や立体に表す」では、学びを深める3つのキャラクターが、発想・構想を促す投げかけや、気づきを促すヒントを示すことで、活動のポイントが明確になり、主体的に試行錯誤をすることができるよう、工夫されている。</p> <p>⑥「コロコロ」「ギューツ」等、擬音語を大きく表記したり、題材のタイトル、文字の色や形を工夫したりすることで、児童が題材への興味や関心を高め、意欲をもって学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>⑦教科書に掲載された写真については、マスクをつけた児童がおらず、その豊かな表情が読み取りやすくなっている。</p> <p>⑧造形遊びについては、自然材料や人工材料など、「材料」をもとにした活動と、材料の「造形的な操作や行為」をもとにした活動の2つに整理し、それぞれを全学年に配置することで、学びの積み重ねが図られるとともに、特に低学年での丁寧な指導の充実につながるよう工夫されている。</p> <p>⑨環境に配慮し、従来のプラスチック製ストローを紙ストローに替えたり、造形遊びで使った材料を次の工作の材料にしたり、材料を無駄にしないよう配慮されている。</p>
<p>家庭</p>	<p>開隆堂出版</p>	<p>①多様性に配慮し、挿絵の中で、さまざまな年代や国籍の人を登場人物とすることで、異なる文化的背景をもつ人々と協働しつつ、社会の変化に主体的にかかわるための資質・能力を育むことができるよう工夫されている。特に、海外の食文化の内容や、キャリア教育、SDGs のことなど現代の課題を意識して作られている。</p> <p>②「煮干し」「カステラ」「具雑煮」などの食材や郷土料理を掲載することで、長崎の食材や食文化などに気付くことができるよう配慮されている。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能についての情報が精選されている。特に豆知識や資料、伝統的な事柄から最新の情報が多く掲載されており、知識を獲得しやすい上、興味関心をもちやすく、自主学习にもつなぐことができる。</p> <p>④問題解決的な学習を繰り返しながら、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。特に、単元の始まりが、「なぜ？」から入るところや、Q&amp;A にしているところなど、児童に思考させることができる表記が多用されているところがよい。</p>

		<p>⑤「生活の課題と実践例」が多く掲載されている。</p> <p>⑥「生活の中のプログラミング」として、家電製品の事例がいくつも詳しく説明してある。</p> <p>⑦製作や調理などの学習では、細部を拡大写真やイラストで分かりやすく表現したり、丸囲みや矢印でポイントを示したりすることで、作業の状況を確認しながら安全に取り組むことができるよう配慮されている。特に、調理や裁縫の学習については背景が色分けされていて、手順がわかりやすく、指導がしやすい。また、調理に必要な情報が裏表紙に掲載されているので使いやすい。さらに、定規の目盛りもついており、裁縫の学習の際にも便利である。</p> <p>⑧ユニバーサルデザイン教科書体を用いた表記で、読みやすい。</p>
保健	Gakken	<p>①授業において、児童が、主体的・対話的な学びを進める中で、自分の考えを整理し、記入する欄が適切に設けてあり、児童の思考力・判断力・表現力を高められる工夫がなされている。</p> <p>②「学習の進め方」を提示してあることで、児童が学習の見通しをもつことができると同時に、教師も指導過程を把握しやすい。</p> <p>③デジタルコンテンツが充実しており、興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>④他教科との関連性が表記してあり、カリキュラムを横断的にとらえることができるようになっている。</p> <p>⑤文章、絵図、写真ともに、簡潔でわかりやすい内容・レイアウトである。</p>
外国語	開隆堂出版	<p>①5つの領域（聞く・話す（やりとり）・話す（発表）・読む・書く）において、バランスよく基本的な語句や表現に繰り返し触れることができ、基礎的な知識・技能の確実な習得が図られるよう工夫されている。</p> <p>②中学年の外国語活動とのつながりを意識した構成となっており、聞くこと・話すことに関する活動が充実している。また、中学校との接続を踏まえて、読むこと・書くことについても、段階的に、児童にとって無理のない配置となっている。</p> <p>③年間8単元で構成されており、大きく3つのユニットに分かれている。各ユニットの最後には、既習の表現を使ってやり取りを行う活動が仕組まれており、ALT等を積極的に活用した授業を仕組みやすくなっている。また、同じくユニットの最後には、5領域に関する習得状況を評価できるページがあり、児童自らが学びを振り返ることができるとともに、指導者にとっても、指導の在り方を見直すことができる。</p> <p>④挿絵や、異文化理解を促す写真を使って聞いたり書いたり、ゲームを行ったりすることで、学習意欲を高められるよう配慮されている。また、挿絵の大きさも適切である。</p>

		<p>⑤ゴールの言語活動に向け、単元の第1時から毎時間言語活動を積み重ねることで、互いの考えや気持ちを繰り返し伝え合うことができるよう配慮されている。</p> <p>⑥各単元末の言語活動の前には、児童がどのようなことを伝えたいかなどの思考を整理するための記載欄が設けられており、すべての児童が安心して言語活動に向かうことができるようになっている。</p>
道徳	日本文教出版	<p>①児童が自分の考えを図や言葉で表現・整理することができる別冊の「道徳ノート」が付いている。教師が投げかける「問い」について、自由に記載できるような体裁となっており、学級の実態に応じて、また、様々な授業展開において、柔軟に活用することができる。</p> <p>②動画資料やワークシート、思考ツールなど、授業の導入や展開において、教師の意図や学級の状況に応じて自由に活用できるデジタルコンテンツが充実しているため、教師にとっても使いやすい。そのため、教員の経験年数の差に左右されず、質の高い授業を実施可能とする。</p> <p>③教材文において、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れが表れている場面で終わることで、児童の多様な意見を引き出し、議論が活発になるような工夫がなされている。</p>